

## 椅子型 気軽にモビリティ



デモンストレーションで段差を乗り越える近距離モビリティ「WHILL」＝16日午前、松山市中央1丁目

ネットヨタ瀬戸内 取り扱い開始

ネットヨタ瀬戸内（松山市、平松龍一社長）は、WHILL（ウィル、東京）が開発した椅子型の近距離モビリティ「WHILL」

の取り扱いを17日から開始する。16日にはメディア向け発表会をネットヨタ瀬戸内中央店（同市中央1丁目）で開いた。「高齢者の運転免許返納が進む中、移動に不自由を感じている人が気軽に外出掛けを楽しめる安心な移動手段として提案したい」としている。

取り扱うのは、安定性が高く5センチの段差を乗り越えられるモデルC2と、軽量化し折りたためるモデルFの2種。C2も工具を使わず簡単に四つに分解できる。いずれも自動車に積めるため、家族での旅行や買い物に利用しやすい。

5時間の充電でC2は最高18キロ、Fは20キロの距離を走る。道路交通法では歩行

者扱いで歩道を走行。時速1〜6キロでスピード調整でき、軽くコントロールを触るだけで操縦できる。専

用アプリを使いスマートフォンでの操縦も可能。

価格はC2が47万3千円、Fが26万8千円。県内全7店舗で取り扱う。試乗車を順次配備中。レンタルについても相談に応じる。WHILL社によると、介護保険を利用した福祉的な利用や直売に加え、自動車販売店などによる取り扱いが全国的に広がってきている。四国で同販売店での取り扱いにはネットヨタ瀬戸内が初めてという。

（花本和久）